

立教経済学研究

論 文

銀行の自己資本比率規制……………小林威雄
木村重義博士の簿記理論……………茂木虎雄

—昭和初期の勘定理論展開史によせて—

Überlegungen zum Prozeß der Industrialisierung und
Modernisierung Japans und zur wissensgeschichtlichen
Analyse.……………住谷一彦

唯物弁証法の発展……………井上周八
中世都市市民共同体の生成……………田中正義

—ノリッチ市の場合—

分業の経済学的研究……………山本二三丸

ドゥーガルド・ステュアートの経済理論……………太田 要

—古典学派生成期における貨幣・価格論の一局面—

戦後世界経済と東アジア……………郭 洋春

—東アジア経済圏の開発とその経済的・政治的意味—

海港都市ボルネオにおける工業化の歴史的諸要因……………浜 文章

—外国貿易の展開と初期工業化を中心に—

資 料

シャハト著作目録(1895-1936年)(上)……………川瀬泰史

1990 3